

研究テーマ：遠隔キャンパス間における医療情報ネットワーク 相互接続実験(1/2)

(プロジェクト番号 JGN2-A16062)

研究機関： 岡山大学

研究の概要：

大学病院の使命として高度先進医療の開発と提供があげられる。高度先進医療の展開において専門医がいないような地域病院においても、情報ネットワークを活用することにより地域住民の福祉、健康増進に寄与できる。たとえば心疾患における超音波画像や高精細X線画像(シネ血管造影画像など)の動画像を高速に伝送、テレビ会議を用いて専門医の意見を聞くなどの方法で、高度の医療の提供がおこなえるシステムの構築を行う。

研究の目的：

岡山大学における鹿田地区の附属病院と三朝地区の三朝医療センター間、および他医療機関とのネットワーク接続による安全かつ確実な診療情報の共有を行う。

大学病院の使命として高度先進医療の開発と提供があげられる。高度先進医療の展開において専門医がいないような地域病院においても、情報ネットワークを活用することにより地域住民の福祉、健康増進に寄与できる。たとえば心疾患における超音波画像や高精細X線画像(シネ血管造影画像など)の動画像を高速に伝送し、テレビ会議を用いて専門医の意見を聞くなどの方法により、高度の医療の提供がおこなえるシステムの構築を行う。

また、診療情報の共有は病病、病診連携の推進において極めて重要であるが全国的には未整備の状態である。岡大病院においても鹿田地区の附属病院と三朝地区の医療センターは本来同一診療機関であるにもかかわらず、地理的制約から診療録の一元管理がなされておらず、病院医療情報システム構築においても2病院それぞれにシステムを導入しなければならないという状況にある。これらの両システムの一元管理はシステム開発・維持の上でも患者診療においても極めて有用である。地域診療における病病、病診連携が強く志向される中、このようなシステムモデル構築は極めて有意義である。



Image information transfer

Dual information transfer systems



REALTIME



Confirmed diagnosis



研究テーマ：遠隔キャンパス間における医療情報ネットワーク 相互接続実験(2/2)

(プロジェクト番号 JGN2-A16062)

研究機関： 岡山大学

実験機器構成：



研究開発成果：

岡山大学病院本院と、三朝医療センターのネットワーク接続が可能となり、双方における治療内容(検査、画像、注射など)のカルテ参照が可能となった。

また、岡山情報ハイウェイ接続病院との遠隔画像診断、内視鏡下のさまざまな手術の指導等に活用している。

平成18年4月に開設した岡山画像診断センターとの高速画像送受信にも活用し、徐々に利用範囲が当初予定より拡大しつつある。

岡山情報ハイウェイ・鳥取情報ハイウェイ間の直接接続が実現したので、接続可能拠点を増やし、これを利用して医療情報ネットワークの相互接続を行い、実証実験を通してシステムの改良を行うとともに、利用サービスの拡大を行う。また、三朝医療センターとの診療情報の共有も強化して行く。

プロジェクトのアピールポイント

岡大病院における鹿田地区の附属病院と三朝地区の医療センター間のネットワーク接続による、カルテ・診断画像などの医療情報の安全な共有、および医療技術(内視鏡的手術や心疾患の動画像診断など)の研修、習得ならびに指導のためのテレビ会議システムの開発・運用

プロジェクトの自己評価

予定通りの成果を上げた。